

**PANAC**

For The Best Solution!



パナック

# CSR 報告書 2012

2010,2011年度実績



**経営  
理念**  
(ミッション)

パナックは、グローバルな視野に立ち、  
「地球環境保護・人々の生活の質の向上」に貢献する  
真の価値を創造し続ける。



**経営  
目的**

- ▶ お客様の立場に立って、常に新しい提案を、商品やサービスの形で提供しつづける。
- ▶ メーカーから、無くてはならない存在として信頼される「現場に強い」企業となる。
- ▶ 我が国をはじめ、世界の各地域で、現地に根をおろした健全な経営活動を通して、その社会の経済発展や文化の向上に積極的に貢献する。
- ▶ 社員は会社の宝である。社員一人一人の夢をかなえる場として創造性豊かな風土をつくり、社員の自己実現に寄与する。

CONTENTS

■ 経営理念 .....01	■ 環境 .....08
■ 編集方針 .....01	環境負荷物質の削減
■ トップメッセージ .....02	チームマイナス6%活動への参加
■ パナックコンセプト .....03	化学物質管理
■ 2010・2011年度CSR活動計画と自己評価 .....04	ISO14001認証取得の推進(富士宮工場)
■ 組織統治 .....05	防災訓練
コーポレートガバナンスの推進	■ 公正な事業慣行 .....10
社会的責任への取り組み	パナック企業行動憲章・行動規範
リスクマネジメント活動	コンプライアンス意識調査
■ 人権 .....06	購買基本方針
人権の尊重・擁護	サプライチェーンCSR推進ガイドブック
障がい者休暇・雇用の促進	グリーン調達
ホットライン	■ 得意先課題 .....12
■ 労働慣行 .....07	ISO9001マネジメントシステム
ワーク・ライフ・バランスの推進	クレームへの対応
労働安全衛生	QC研修
	■ コミュニティへの参画およびコミュニティの発展 .....13
	義援金寄付、文化活動の協賛
	工場周辺清掃活動
	■ 会社概要 .....14

◎編集方針

この「CSR報告書2012」はパナックの2010・11年度(2010年4月～2012年3月)のCSR活動についてまとめた報告書です。  
パナックと関わりのあるすべてのステークホルダーの皆様、ならびに従業員各位にお読みいただきたいと考えております。

総務人事部CSR推進課

## TOP MESSAGE

### パナックCSR方針

プラスチックフィルムを通して、新しい価値を追求し、健全で幸福な社会の発展に貢献していきます。

企業は、社会に有益な製品・サービスを提供することで社会に貢献し、それにより企業価値を高めています。また、同時に持続的な発展ができるよう、社会での活動を続けなければいけない存在です。そのためには、経営の一環として、CSR(企業の社会的責任)が必須となってきました。

パナックは、CSRを「企業が社会の中で、持続的に発展するために、社会に対して果たすべき責任」として認識し、経営を行います。つまり、パナックを取りまくあらゆるステーク・ホルダー(顧客、取引先、従業員、地域社会、株主など)に配慮した経営を行うことです。

具体的には、経営の視点を従来の経済的視点ばかりでなく、社会を加えたCSRという新しい視点から発想することにより、継続的に社員・パナックの意識、意思決定、行動を変化させ、社会とパナックの持続可能性を高めることです。

そうすることにより、パナックを、メーカー機能の割合が商社機能より大きい、従来の割合が逆転した会社に脱皮させたいと思っています。



今後も、パナックは、プラスチック・フィルムを通して、新しい価値を追求し、健全で幸福な社会の発展に貢献していきます。

2012年6月  
パナック株式会社

代表取締役社長

宮下 正博

# THE PANAC CONCEPT

バナックコンセプト

## 機能性フィルムのことなら、 すべてバナックにお任せください

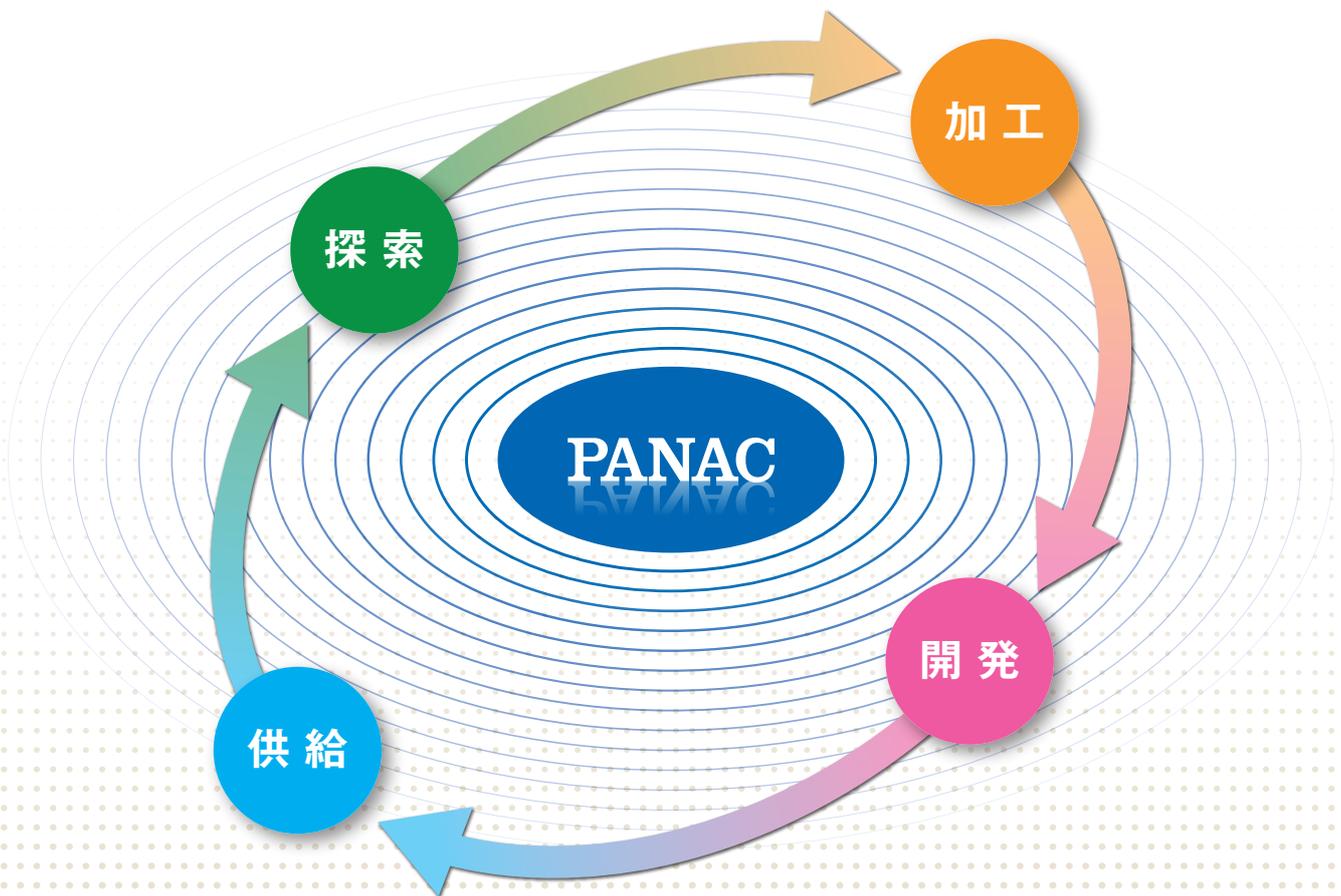
バナックは”4つの機能”により、特徴ある企業に成長してきました。

これは、お客様にとって最適なフィルムを、  
数ある種類の中から[探索]し、最適な形状に[加工]する。  
さらには新たな機能を持たせられるように[開発]しながら、  
安定した[供給]を行うことに集約されます。

これらはすべて、プラスチックフィルムに関するプロフェッショナルとして、

「お客様の要望にお応えする」を追求してきた結果であり、  
皆様からのゆるぎない信頼へとつながっています。

バナックはこれからも、より高度な付加価値を創造すると同時に、  
すべての機能をひとつの大きな力にし、未来を築きます。



# 2010・2011年度 CSR活動計画と自己評価

区分	テーマ(項目)	主な活動計画	活動実績	自己評価	2012年度の課題
誠実な企業活動	CSR全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR推進体制の整備・推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回のCSR委員会を開催</li> <li>取引先からのCSR関連調査 2010年 14社 2011年 13社に回答</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR委員会の開催</li> </ul>
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPの策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク管理委員会を24回開催 (2010年:7回, 2011年:17回)</li> <li>BCP(手順)策定を推進</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPの策定</li> <li>具体的施策・準備の実施</li> </ul>
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動規範の浸透と教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010年 5月 浸透度調査を実施 11月 違反調査を実施 11~12月 部課長向け コンプライアンス特別教育実施</li> <li>2012年 3月 本社・営業所 コンプライアンス勉強会実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス調査の実施</li> <li>コンプライアンス勉強会の実施</li> </ul>
	情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR報告書の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR報告書の発行 2009年度版</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010・2011 2年分の CSR報告書作成</li> </ul>
	市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>QMS活動の推進</li> <li>与信管理の推進</li> <li>CSR調達方針の作成</li> <li>グリーン調達の推進</li> <li>下請法の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査、維持審査実施</li> <li>与信管理の社内ルールの見直し</li> <li>サプライチェーンCSR推進 ガイドブックの作成・配布</li> <li>グリーン調達基準書の改訂</li> <li>基本契約書の見直し及び締結の推進</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>与信管理の徹底</li> <li>サプライチェーン CSR推進ガイドブック の配布先拡大</li> <li>基本契約書の新規締結</li> </ul>
人間尊重	活力ある組織・人作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフバランス推進</li> <li>労働安全衛生の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノー残業デー2回/週の実施</li> <li>人権・労働に関する無違反の確認</li> <li>安全衛生委員会の開催</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般事業主行動計画の 推進</li> <li>無災害の達成</li> </ul>
環境との調和	環境経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>EMS活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士宮工場EMS認証取得</li> <li>亀山工場内部監査、維持審査を実施</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>EMS活動の推進 環境汚染が懸念される 作業・施設について 手順化を進める</li> <li>他のエネルギーの削減</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>チームマイナス6%活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールビズの実施</li> </ul>		
社会との調和	社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会貢献活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士宮・亀山工場周辺の 清掃活動実施 2010・2011年度とも、 各工場2回の清掃活動を実施</li> <li>義援金寄付・文化活動の協賛</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動以外の活動の 推進</li> </ul>

◎…目標達成 ○…目標達成50%以上 △…目標達成50%未満

# 組織統治

## コーポレートガバナンスの推進

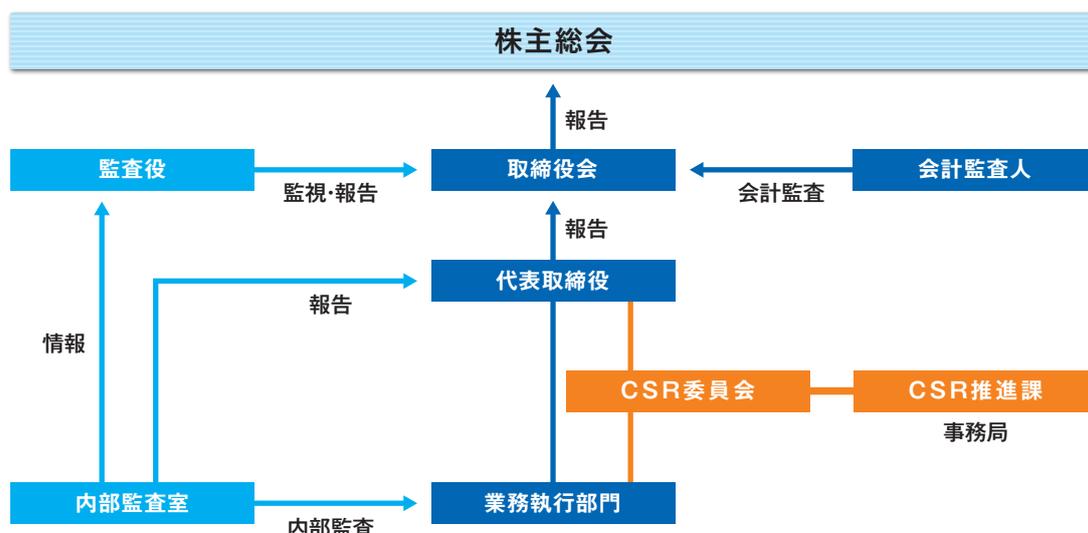
パナックは、経営理念を実現するために、経営の効率化、透明性、健全性の維持に努めています。

これらの活動により、継続的に企業価値を創造し、すべてのステークホルダーから信頼され、満足いただける魅力ある企業を実現させ、社会とパナックの持続性を高めていきたいと考えています。

当社は、適正な監査を通して、現状の経営システムを最大限に機能させることにより、公正、透明、かつ迅速な経営執行を実現したいと考えています。

また、当社全体の内部監査機能を担当する部門として、内部監査室を設けています。

2010年度からは、経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離し、経営および業務執行に関する意思決定の業務遂行のスピードアップを図るとともに、監督機能を強化することを目的に、執行役員制度を導入しています。



## 社会的責任への取り組み

パナックは、2008年にCSR委員会、CSR推進室（現在は総務人事部CSR推進課に改組）を新設し、CSR活動に取り組む体制を作りました。

CSR委員会は、社長を委員長とし、パナックのCSRに関する基本方針・総合施策の審議・決定とパナックで実施するCSR活動を総括しています。

CSR推進課は、CSR委員会の事務局とし活動しています。

## リスクマネジメント活動

パナックでは、会社法の施行に伴い、内部統制の構築の一環として、リスク管理委員会を設置しました。

2011年3月11日の東日本大震災以降については、特に大地震への対応を重点的に活動し、大地震発生時の社員の安全と顧客への製品・サービスの提供の確保を第一として、対策の検討や実行性と実効性が期待できる手順策定に、注力しています。

# 人権

## 人権の尊重・擁護

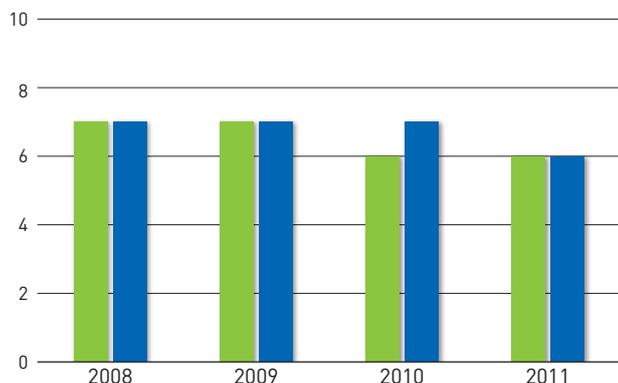
パナックの行動規範(10ページ参照)に明記されているとおり、基本的人権を尊重・擁護し、基本的人権を侵害いたしません。

また、把握している範囲において問題行為等は報告されていません。

## 障がい者休暇・雇用の促進

障がいを持たれた社員については、通院のための特別休暇を付与し、就労の支援をしています。

また、障がい者雇用についても、法定雇用人数をカバーしています。



■ 法定雇用人数 ■ パナック

## ホットライン

職場で発生したコンプライアンス上の問題は、職場で解決することが基本ですが、職場の上司に相談しても解決できない場合や、相談することが難しい場合に、職制や組織を飛び越えて相談・連絡ができるよう「ホットライン」を設置しました。

また、パナック企業行動憲章・行動規範を遵守する上で、内容などに疑問が生じたり、違反の事実を知ったりした場合にも相談できます。もちろん、相談した事を理由に、相談者が不利益を受ける事はありませんし、相談者の秘密も守られます。

相談件数は、2010年度、0件、2011年度、1件でした。



# 労働慣行

## ワーク・ライフ・バランスの推進

### ■育児支援

パナックでは、大企業のような厚生施設を設けることなどの支援はできませんが、短時間労働など法の求めよりも緩やかな対応をすることで、育児支援をしています。

また、育児休業中の社員に対して、社内情報などの資料を送付するなど配慮しています。

### ■過重労働対策

社員の過労働を回避すべく、「ノー残業デー」の実施や、毎月中間での残業時間管理を通じて削減意識向上を促し、36協定の遵守はもとより、一層の削減に注力しています。

※業務多忙時期に、万が一月/100時間超えた社員がいた場合、「産業医」面談を実施しています。

### ■一般事業主行動計画

社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全員が働きやすい環境をつくることによって、すべての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため、一般事業主行動計画を策定し、社内ポータルサイト、HPに掲載し社内外に周知しています。

### ■メンタルヘルスの推進

精神科の産業医を配置し、3ヶ月に1度、精神科の保健士を招き、「健康相談」も実施するなど、メンタルヘルスにも注力しています。

## 労働安全衛生

富士宮工場、亀山工場では、安全衛生委員会を組織し、毎月の委員会の開催、安全・衛生・5S巡視、安全教育、新設備の安全評価等の活動を行ってきました。

より安全で快適な職場を実現するために産業医との衛生巡視や委員会メンバーを中心とした安全巡視を定期的実施しています。

以前は設備を中心とした安全巡回を実施していましたが、昨今では作業を中心に点検を行い、危険動作のチェック及び改善活動を展開しています。

また、地域性の関係上、自家用車を使っでの通勤となるため交通法規の遵守状況を確認するために委員会メンバーを中心に安全運転の実施状況のチェックや啓蒙活動を展開しています。

2011年度は東日本大震災の影響により、富士宮工場では夏期使用電力制限の対象となりましたが、オーバーフローするクリーンエアーを事務所で活用できる空調工事等実施し、電力使用制限の目標を達成しかつ職場環境の維持・向上を達成することができました。

# 環境【1】

## 環境負荷物質の削減

富士宮工場に最新鋭のVOC処理設備(マイクロガスタービン)を有したクリーンコーターを新設しています。この設備は、VOCの処理効率98%以上を維持しつつ、従来設備と比較しエネルギー効率が良く、原単位換算で「LPG31.6%削減、購入電力22.8%削減」を達成することができました。

亀山工場でも、コーティング工程で発生するVOCを、98%以上の処理効率で熱分解する装置を設置しています。

また、各事業所共に廃材の分別作業を徹底して行い、積極的にリサイクル対応を推進し産業廃棄物の廃棄量を削減するとともに、リサイクル不可能な廃材については、RDF等のサーマルリサイクルへの活用を行い環境負荷物質の削減に努めています。

## チームマイナス6%活動への参加

パナックでは、経営理念にも地球環境の保護を掲げています。

生産部門での省エネルギー活動をはじめ、全社での夏期のクールビズ活動、こまめな消灯活動を通して、意識的に取り組んでいます。

2011年度のクールビズ活動は、期間の前倒し・延長した対応をとりました。



## 化学物質管理

近年の欧州RoHS指令、REACH規制など製品に対する化学物質規制が急速に高まっています。

このような背景により各種規制への対応を強化するため、グリーン調達基準書を制定・改訂しています。

サプライチェーンを含めた化学物質情報管理体制を推進し、お客様への情報提供(MSDS、RoHS分析データ)に注力していきます。

区分	対象物質
使用禁止物質	RoHS 指令対象物質、アスベスト、PFOS、ヘキサクロロベンゼン、ヒ素、ベリリウム等
管理物質	アンチモン、ポリ塩化ビニル、ヘキサブロモシクロドデカン等

◎ <http://www.panac.co.jp/activity/greenProcurement.html>参照。

## 環境【2】

### ISO14001 認証取得の推進 (富士宮工場)

富士宮工場、開発部、品質管理部、富士宮品質管理課につきましては、2011年7月11日に取得しました。

特に取得審査では、2011年3月11日に発生した東日本大震災や2011年3月15日に発生した静岡県東方地震の時の具体的な対応や、夏期の電力制限に関する対応方針等の確認も含めた実践的な取得審査となりました。

実際の災害対応としてはISO14001の取得準備の中で環境維持のための活動が出来ており地震発生時に環境影響物質の流失等の事故はなく実際の対応でも満足のゆくものでした。

取得以降も我々の生産活動に於ける環境影響の抽出を行い各部署単位で個別目標を設定及び各目標に対する活動状況の評価を推進しています。

### 防災訓練

富士宮工場では2010年9月13日と2011年9月12日に年次防災訓練を実施しました。実施結果については富士宮市役所 消防本部予防課へ報告を行い地域との連携も図っています。

特に2010年度は、東日本大震災と静岡県東方地震が発生し本番の避難を体験することとなりました。平素の避難訓練の成果もあり、全従業員が安全の確保、機械停止作業の実施、屋外退避等、冷静沈着に実行し「負傷者無し、地震による2次災害無し」の結果となりました。

また、今回の災害で実践で確認できた不具合点等の抽出を行い防災手順の見直しを実施し改善内容を反映した避難訓練を実施しています。

亀山工場におきましても、毎年地元の消防署と連携した防災訓練、消火訓練を実施し、万が一の災害に備えた活動を推進しています。

# 公正な事業慣行 【1】

## パナック企業行動憲章・行動規範

CSRを推進する上で、その担保であるコンプライアンス(法令遵守)に取り組む事は、必要不可欠です。

コンプライアンスは、言い換えればビジネス社会のルールの遵守です。

パナックのビジネス社会のルールとして、企業行動憲章・行動規範を2008年に制定し、徹底を図っています。



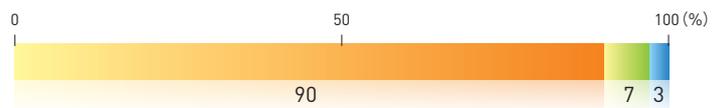
Ⓢ <http://www.panac.co.jp/csr/policy.html>参照。

## コンプライアンス意識調査

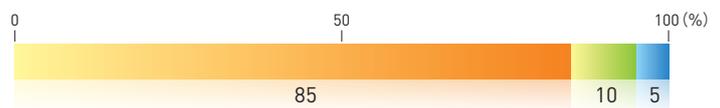
コンプライアンス推進への取組が従業員の意識向上に繋がっているかを確認するため、全従業員を対象に、第2回目のコンプライアンス意識調査を実施しました。

「CSR」「コンプライアンス」という言葉の認識は高くなっていますが、職場での浸透(自分の業務との関連性の認識)は十分とは言えず、これからの課題となっています。

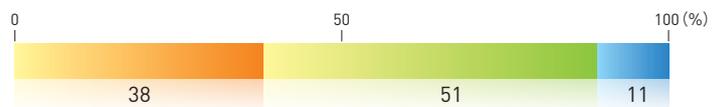
▼あなたは、CSR(企業の社会的責任)という言葉を知っていますか?



▼あなたは、コンプライアンス(法令遵守)という言葉を知っていますか?



▼あなたの職場に、「コンプライアンス」は重要だという意識は浸透していますか?



■ はい ■ どちらでもない ■ いいえ

## コンプライアンスの推進

2010年度に実施したコンプライアンス意識調査のフリーコメント欄に、コンプライアンスに抵触しかねない記述がありました。

そのため、これに関する追加調査の実施や、管理職への特別勉強会の開催など、具体的な対策を進めました。

## 公正な事業慣行 【2】

### 購買基本方針

パナック購買部門は、「パナック企業行動憲章」及び「パナック行動規範」に基づいて、関係法令の遵守、公正な取引のもとで、必要な資材・サービス等を適切な品質・納期で調達し、お客様が求める価値ある商品の提供に貢献しています。

購買活動においても、お取引先様のご協力のもとで、CSR（企業の社会的責任）活動の推進に積極的に取り組んでいきます。

具体的には、4つの基本的な考え方にに基づき、購買活動を行います。

#### ◆基本的な考え方

1. 公明正大に、国内外のすべての企業に公平な機会を設け、公正な評価のもとで購買活動を行います。
2. 法令、社会規範を遵守し、お客様との相互協力、信頼関係の構築に努めます。
3. 購買活動を通して、地球環境保全などの社会的責任を果たしていきます。
4. 最適な品質とコストを追求します。

◎ <http://www.panac.co.jp/csr/procurementpolicy.html>参照。

### サプライチェーンCSR推進ガイドブック

パナックは、CSRを「社会的責任を果たしながら事業活動に取り組むことによって、社会の中で持続的に発展し、社会に貢献すること」と考え、2008年より、CSR活動に取り組んできました。

このパナックのCSR推進活動をお取引先様にご理解をいただくとともに、CSR推進の観点から、お取引先様にご協力いただきたい項目を明確にする事でお取引先様とともにCSRを推進していく目的として、「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」を2010年7月に作成し、主要なお取引先様に配布しました。



◎ <http://www.panac.co.jp/csr/SupplyChainCSR.pdf>参照。

### グリーン調達

パナックは、グリーン調達の基本的な考え方「環境の保全に積極的に取り組んでいるお取引先様から、環境負荷の少ない資材を優先的に調達する」に基づき、グリーン調達活動を推進しています。

EUでは、2006年7月から「RoHS指令」が施行されていますが、2007年6月には「REACH規制」が施行され、製品に含有する化学物質に関する法規制が強化されています。

以上の背景から、弊社では2006年、「グリーン調達基準書」を制定し2010年11月 ver.3.0、2011年7月 ver.3.1 と更新しています。

パナックでは、本グリーン調達基準書の遵守をお取引先様との取引条件とさせていただきます。

# 得意先課題

## ISO9001マネジメントシステム

パナックでは品質保証体制を整えるため、国内外の各主要拠点でISO9001認証を取得しています。

### パナック本社 品質方針

- 1 お客様のニーズと期待に応え、かつ環境に配慮したプラスチックフィルム製品及びサービスを提供し、お客様の満足と信頼を得る。
- 2 お客様及び社会の規制・要求事項を的確に把握し、それらを満たすために品質マネジメントシステム(QMS)を効率的に運用する。
- 3 QMSの有効性を継続的に改善し、加工品事業における自立を実現する。

### ▼ 国内外パナックの品質ISO認証登録状況

	国内			海外					
	本社	亀山工場	富士宮工場	香港パナック	深圳工場	上海パナック	台湾パナック	蘇州パナック	裕昌光電
ISO9000シリーズ	2004年4月	1998年4月	2006年3月	1997年6月	1997年6月	1999年9月	2000年3月	2005年3月	2005年7月
ISO14000シリーズ	—	2002年2月	2011年7月	2001年11月	2001年12月	2006年4月	2003年12月	2000年7月	2006年7月

## クレームへの対応

パナックではクレームの情報をデータベース化しております。トラブル時には過去のクレーム・コンプレン情報集積から対応を把握し、迅速にお客様にフィードバックすることができます。

ISO9001を中心とした改善活動を行う事によりクレームを低減しています。

## QC研修

パナックでは、品質保証体制向上の一環としてQC7つ道具を中心とした品質基礎知識の研修を、2010年度は本社間接部門及びアシスタントを対象に、2011年度は営業所を対象としたTV会議による勉強会を実施しました。

2010年度は全5回、2011年度は全4回に亘る講義で現場の生のデータを活用し、作図、作表、ディスカッションを中心に研修を実施しました。

今後も、全社的な品質基礎知識の向上を図っていきます。

# コミュニティへの参画およびコミュニティの発展

## 義援金寄付、文化活動の協賛

パナックでは、皆様に信頼される企業、一企業市民として、持続可能で健康的な関係を共有することを目的に、社会貢献活動に取り組んでいます。

### ◆災害被災者救援活動への義援金寄付活動

- インド西部地震義援金(2001.3)
- 新潟県中越地震義援金(2004.11)
- スマトラ沖地震義援金(2005.2)
- パキスタン北部地震義援金(2005.10)
- インドネシアジャワ中部地震義援金(2006.6)
- 新潟中越沖地震義援金(2007.7)
- ミャンマーサイクロン災害義援金(2008.6)
- 中国四川大地震義援金(2008.6)
- 東日本大震災義援金(2011.4)

### ◆赤十字活動資金

パナックでは、日本赤十字社の活動を支援しています。

### ◆サイトウキネンフェスティバル松本への協賛

サイトウ・キネン・オーケストラは、1984年、世界各地に散る同門の志が、恩師齋藤秀雄先生没後10年に集い、メモリアルコンサートを開いたことから生まれた、世界に類をみないオーケストラです。

パナックでは、1992年より、同フェスティバルに協賛しています。

### ◆IPPO IPPO NIPPONプロジェクトへの協賛

IPPO IPPO NIPPONプロジェクトは、経済同友会が、東日本大震災の被災からの復興支援に向けた具体的行動として結実させるために立ち上げたプロジェクトです。

パナックは、プロジェクトに協賛し、支援活動を行っています。プロジェクトの第一期活動として、人づくりと産業活性化という視点から、地場の産業を担う若者の育成を中心に、各県が運営する震災遺児・孤児の生活支援基金への寄付、岩手大学や東北大学が取り組む産学連携の復興事業への資金援助を実施しました。

## 工場周辺清掃活動

生産本部では地域活動の一環として、工場周辺の清掃活動を展開しています。

富士宮工場・亀山工場共に、各年度とも春、秋の2回清掃活動を実施しており周辺美化に努めています。



## 会社概要

会社名	パナック株式会社 PANAC Co.,Ltd.
本社	〒108-0014 東京都港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル
設立	1979年1月12日(創業1933年)
資本金	3億1000万円
代表取締役社長	宮下 正博
従業員	400名(平成24年4月現在)
営業拠点	大阪営業所(大阪府)、名古屋営業所(愛知県)、松本営業所(長野県) 尾道営業所(広島県)、三重営業所(三重県)、熊本営業所(熊本県)
生産拠点	富士宮工場(静岡県)、亀山工場(三重県)
関連会社	シエス株式会社(東京都) 台湾パナック(台湾)、香港パナック(中国)、上海パナック(中国) 蘇州パナック(中国)、裕昌光電株式会社(韓国)、パナックコリア(韓国)

### 事業内容

- 富士フィルム株式会社特約代理店として「フジタック」、「WVフィルム」、その他各種産業材料の特約販売
- 株式会社サンリツ代理店として高級プラスチック偏光フィルムの加工及び販売
- 東レ株式会社の「ルミラー」、東レ・デュポン株式会社の「カプトン」をはじめとして、メーカー各社の各種高機能プラスチックフィルムを、工業材料、電子材料分野に加工及び販売
- 加工技術 コーティング加工/ラミネート加工/プロテクト加工/マット加工/スリット加工/カット加工/抜加工/染色加工/印刷加工/蒸着加工 他

## 売上高・社員数の推移

### ▼ 売上高推移



### ▼ 社員数推移





## パナック株式会社

---

本社	〒108-0014 東京都港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル	TEL. 03-5442-8771(代)	FAX. 03-5442-2063
大阪営業所	〒530-0044 大阪市北区東天満2-9-1 若杉センタービル本館 8F	TEL. 06-6353-7051(代)	FAX. 06-6357-7333
名古屋営業所	〒461-0001 名古屋市東区泉3-7-5 サノヤオフィスビル	TEL. 052-932-3461(代)	FAX. 052-931-3235
松本営業所	〒390-0874 長野県松本市大手1-3-28 神山ビル	TEL. 0263-39-6100(代)	FAX. 0263-39-5700
尾道営業所	〒722-0037 広島県尾道市西御所町14-15 第6堀田ビル	TEL. 0848-23-3435(代)	FAX. 0848-23-3326
三重営業所	〒514-0004 三重県津市栄町1-820 ルミナスパレス101号	TEL. 059-213-3081(代)	FAX. 059-213-3082
熊本営業所	〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2-1-24 熊本九品寺ビル	TEL. 096-212-7400(代)	FAX. 096-212-7412
亀山工場	〒519-0214 三重県亀山市長明寺町250-10	TEL. 0595-82-8760(代)	FAX. 0595-82-8753
富士宮工場	〒418-0112 静岡県富士宮市北山5961-1	TEL. 0544-58-8795(代)	FAX. 0544-58-8793
海外事業所	台湾パナック(台中市西屯区)	TEL. 886-4-23590011	
	香港パナック(香港銅鑼灣)	TEL. 852-28816700	
	深圳工場(深圳市宝安区)	TEL. 86-755-27787140	
	上海パナック(上海市外高橋保稅区)	TEL. 86-21-58667070	
	蘇州パナック(蘇州市新区)	TEL. 86-512-68411115	
	裕昌光電(韓国平澤市)	TEL. 82-31-683-9726	
	パナック코리아(韓国ソウル市)	TEL. 82-2-325-1946	

---